

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践 1 【福祉体験】	1 日時 令和 6 年 10 月 24 日・10 月 31 日 2 場所 成沢小学校 体育館 3 活動内容 (1) 社会福祉協議会の方の話 (2) 盲導犬との生活について (3) ボッチャ体験   成果 「盲導犬」や「パラスポーツ」について、見たり聞いたりしたことのある児童は半数以上いた。実際に盲導犬と共に生活をしている方の体験談を聞いたり、「ボッチャ」のルールを知り、体験したりすることができ、障害のある方も残された身体機能を生かして生活を楽しんでいることに気付くことができた。さらに、「自分たちにできることは何か」について、考えるよい機会となった。 【児童の感想から】 ・盲導犬と、友達のように信頼し合っていると思った。 ・目が不自由でも、工夫して生活していることがわかった。 ・「ボッチャ」は、重い障害があっても楽しくできるスポーツなのかわかった。パラリンピックでもやっていた。 課題 児童は真剣に活動に参加することができた。体験のみで終わらないように、今後どのように発展させていくのか事後指導について再考の必要がある。
2 実践 2 【人権集会】	1 日時 令和 6 年 12 月 4 日（水） 2 場所 成沢小学校 各教室 ※オンラインによる実施 3 活動内容 (1) 人権とは？（人権・福祉委員会） (2) 人権啓発アニメの視聴 (3) 人権作文発表（代表児童） (4) 校長先生より   成果 オンラインによる集会としたことで、画面に集中して参加する様子が見られた。人権作文発表は各学年から 1 名選出し、発達段階に応じた分かりやすい内容となった。昨年度の反省から、低学年にも人権について理解が得られるように、人権啓発アニメ（15 分）を活用した。全学年とも、真剣に動画を視聴する様子が見られた。また、司会進行をはじめ、運営の多くを人権・福祉委員会の児童が行うことで、より身近な問題として意識することができた。 課題 視覚的資料として、動画やアニメーションの活用は大変有効である。次年度も児童の実態に合った資料の選定を行いたい。指導する側も人権集会をきっかけに、具体的な場面で繰り返し児童に啓発していきたい。